

点を改良し自分を育てることにより、いい関係を築き上げていくことが経営チャンスにつながる、わかりやすく話されました。

人相は、その人の環境の変化によって変わることがあるといわれます。また、多くの人は悪いよりも良い人相でありたいと思うものです。では、人相は自分で変えることができるのでしょうか。先生の結論は可能とのことです。それは私たちの日常生活の中で、マイナス思考をプラス思考にかえる努力が大切で、例えば、雨が降って嫌だなーと思うのではなく、雨が降っているがきっと何か楽しいことがあるに違いないと思うことによって、意外な発見につながり、眠っている間に素敵な人相に変わっていくのだそうです。

最後に先生の好きな言葉として一休さんの遺言書『心配するな、なるようになる』と話されました。大変に味のある言葉として心に深く残りました。

